

河北新報社杯争奪 第36回宮城県女子団体対抗・個人選手権剣道大会 兼第58回全日本女子剣道選手権大会宮城県予選会

大会要項

- 1 主 催 河北新報社・一般財団法人宮城県剣道連盟
- 2 後 援 宮城県教育委員会・(公財)宮城県スポーツ協会
- 3 主 管 一般財団法人宮城県剣道連盟
- 4 期 日 平成31年4月7日(日)午前9時開会
- 5 会 場 宮城県第二総合運動場(宮城県武道館)
仙台市太白区根岸町15-1 Tel022-249-1216
- 6 参 加 資 格 (1)宮城県剣道連盟の所属女子会員とする。
(2)満18歳以上の者とする。ただし団体対抗においては高校・大学に在籍している者を除く。
(3)年齢の基準は平成31年4月1日とする。
(4)団体対抗は加盟市郡剣道連選抜チームとし選手3名、補員1名をもって編成する。
出場枠は仙台5、石巻3、大崎・登米・栗原は2チーム、他の団体は1チームとする。
(5)個人選手権の出場者数は制限しない。
- 7 竹 刀 検 量 別添資料を参照のこと。
- 8 試 合 方 法 (1)全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則・同細則・運営要領による。
(2)団体試合・個人試合ともトーナメント方式とする。
(3)団体試合4分引き分けとし、チームの勝敗は、勝ち数、取得本数が同数の場合は大将による一本勝負を行う。
(4)個人試合4分、勝敗の決しない場合は時間を区切らず勝敗の決するまで延長戦を行う。
- 9 参 加 料 団体戦 無料 個人戦 1,000円とする。
- 10 日 程 (1)受付・開館 8:00～ (4)試合(個人・団体)
(2)審判会議 8:30～ (5)閉会式
(3)開会式 9:00～
- 11 表 彰 団体・個人とも第1位には河北新報社杯を授与し、第3位まで表彰する。
- 12 申 込 方 法 所定の申込書に記入し、各市郡剣道連ごと下記の宛先に送付すること。
〒982-0845 仙台市太白区門前町2-1
(一財)宮城県剣道連盟事務局宛 Tel022-746-8461 Fax022-746-8462
- 13 申 込 期 日 平成31年3月22日(金)必着
- 14 そ の 他 (1)災害・事故の場合、実施本部で応急処置をするが、他の責任は持たない。
(2)参加選手は、市郡名(横書き)と姓(縦書き)を記した布製の名札を垂に付けること。
(3)参加選手は、赤白の目印(全長70cm・幅5cm)を持参すること。
(4)組み合わせは県剣道連盟事務局にて行う。
(5)参加団体は、下記に従ってオーダー表を作成し、当日受付に提出すること。
(6)個人情報、大会の目的以外に使用しません。
(7)個人選手権大会優勝者は全日本女子剣道選手権大会の宮城県代表とする。

| | 先 | 中 | 大 |
|------------------|-------|---|----------|
| チ ー ム 名 | 17 cm | | 27 cm |

河北新報社杯争奪第 36 回宮城県女子団体対抗剣道大会申込書

| 順位 | 段位 | 姓 名 | 生年月日 | 年齢 | 備 考 |
|----|----|-----|------|----|-----|
| 監督 | | | | | |
| 先鋒 | | | | | |
| 中堅 | | | | | |
| 大将 | | | | | |
| 補員 | | | | | |

第 58 回全日本女子剣道選手権大会宮城県予選会申込書

| No. | 段位 | 姓 名 | 生年月日 | 年齢 | 職業 | 大学名 |
|-----|----|-----|------|----|----|-----|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| 8 | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| 10 | | | | | | |

平成 年 月 日

以上 名分 (円) を添えて申し込みます。

剣道連盟

申込〆切:平成 31 年 3 月 22 日(金)必着

別紙

表1 竹刀の基準(一刀の場合)

| | 対象 | | 中学生 | 高校生(相当年齢の者も含む) | 大学生・一般 |
|----|----|----------|------------|----------------|--------------|
| | 長さ | 男女共通 | | 114センチメートル以下 | 117センチメートル以下 |
| 重さ | 男性 | | 440グラム以上 | 480グラム以上 | 510グラム以上 |
| | 女性 | | 400グラム以上 | 420グラム以上 | 440グラム以上 |
| 太さ | 男性 | 先端部最小直径 | 25ミリメートル以上 | 26ミリメートル以上 | 26ミリメートル以上 |
| | | ちくとう最小直径 | 20ミリメートル以上 | 21ミリメートル以上 | 21ミリメートル以上 |
| | 女性 | 先端部最小直径 | 24ミリメートル以上 | 25ミリメートル以上 | 25ミリメートル以上 |
| | | ちくとう最小直径 | 19ミリメートル以上 | 20ミリメートル以上 | 20ミリメートル以上 |

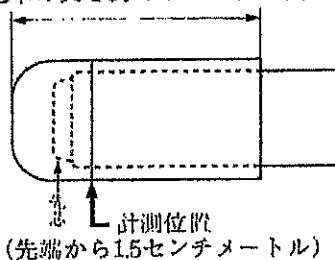
表2 竹刀の基準(二刀の場合)

| | 対象 | | 大学生・一般 | |
|----|------|----------|--------------|-------------|
| | | | 大刀 | 小刀 |
| 長さ | 男女共通 | | 114センチメートル以下 | 62センチメートル以下 |
| 重さ | 男性 | | 440グラム以上 | 280~300グラム |
| | 女性 | | 400グラム以上 | 250~280グラム |
| 太さ | 男性 | 先端部最小直径 | 25ミリメートル以上 | 24ミリメートル以上 |
| | | ちくとう最小直径 | 20ミリメートル以上 | 19ミリメートル以上 |
| | 女性 | 先端部最小直径 | 24ミリメートル以上 | 24ミリメートル以上 |
| | | ちくとう最小直径 | 19ミリメートル以上 | 19ミリメートル以上 |

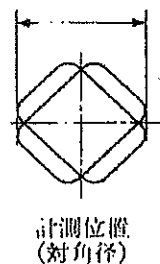
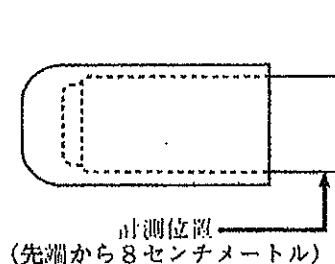
付 剣道試合・審判運営要領

<竹刀の先革長、先端部最少直径値の計測方法>

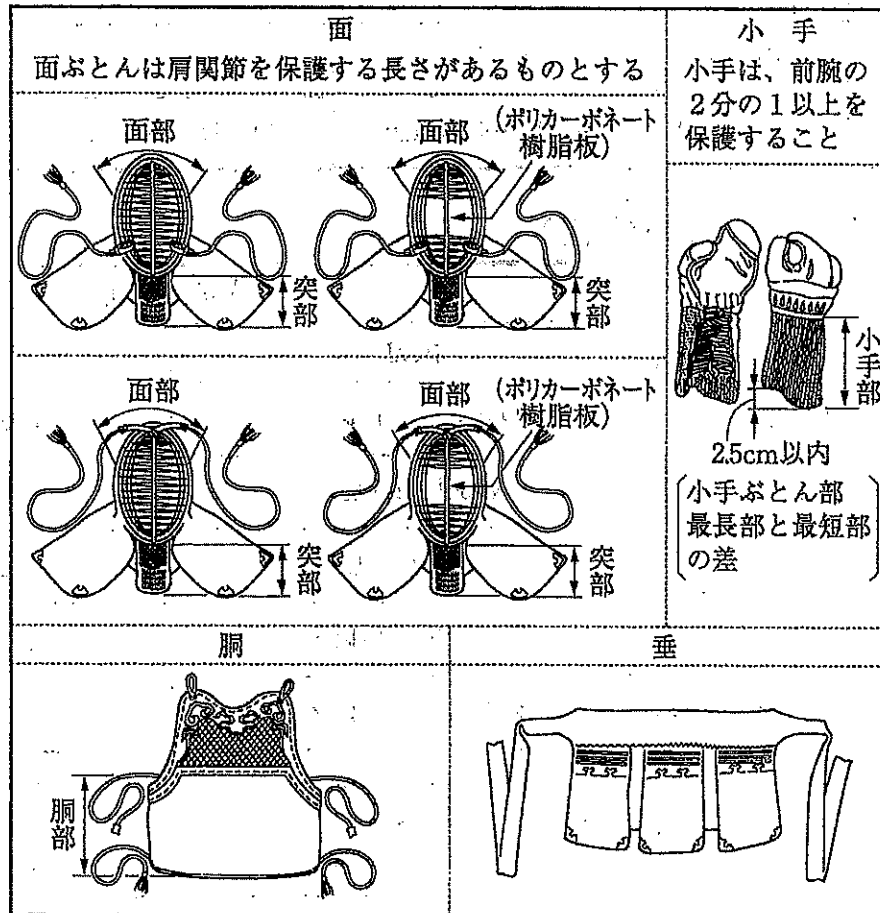
先革の長さ50ミリメートル以上



<ちくとうの最少直径値の計測方法>



第3図 剣道具および打突部位



※面ぶとん部、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

| 審判主任 | 試合場主任 | 検査所責任者 |
|------|-------|--------|
| | | |

剣道用具確認証

一般財団法人宮城県剣道連盟会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に
即し、下記項目の確認いたしました。

日付： 年 月

所 属： _____

選手氏名： _____ 印

記

1) 竹刀関連：検査本数：合計 _____ 本（大会検査所提出本数）

竹刀の長さ（全長）が適正

竹刀の重さが適正

竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正

先から 6.5cm 部分のちくとう部の太さ（対角）が適正

先革の長さが適正

中結の位置（＝全長の約 1/4）が適正

各ピース（竹）の間の隙間がない

破損・ささくれはない

不当な付属品を使用していない

安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部）の 1/2 以上 を保護している

小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ふとん部最長部との差が 2.5cm 以内である

小手頭部・小手ふとん部の衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている

面ふとん部の衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上